

**令和4年度 四国高等学校剣道選手権大会
開催にあたっての安全対策ガイドライン（剣道専門部）**

剣道競技において特に注意すること

（１） 香川県高体連剣道専門部より

「四国高等学校体育連盟主催大会における新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する基本方針」および、全日本剣道連盟の「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」を遵守し、社会における感染状況に応じて、感染防止対策を最優先とする観点で大会を運営する。したがって必要があれば、協議の上で要項に記載した内容や運営の仕方について変更等もあり得ることとする。また、それも含め大会までの間、大会運営に関わる詳細な決定事項は、その都度「事務連絡」として通達し対応していくこととする。

（２） 剣道専門部の感染予防対策

- ア 試合者は、全日本剣道連盟の示す「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法」に則った試合行動を取る。
- イ 試合会場内（1F フロア）に入ることができるのは現試合選手と次の選手（個人戦は3～4試合前まで認める）及び監督、役員・審判員のみとする。その他は2F 観覧席へ移動する。試合場の後方や選手控え場所では、できる限り間隔を取り、他者との密を避ける。
- ウ 試合中は、面マスク・面シールドを必ず着用する。（面マスクは鼻まで覆うものとする）また、試合待機中など、試合以外の時は家庭用マスクを着用する。
面マスクは医療用のもではなく、息苦しくないものを使用すること。加えて、必ず顔に直接触れていて、且つすきまなく口・鼻を覆い、飛沫を防ぐものとする。
- エ 役員・審判員も必ずマスクを着用する。審判員は各自審判旗を持参する。
- オ 通常通り「応援は拍手のみ」であるが、特に今大会は徹底する。
- カ 試合場は、通常よりも他の試合場との間隔を空け、選手控えのスペースを広く取る。
- キ 各試合場の審判主任席には、必ずアルコール消毒液を置き、選手、審判、関係者が使用できるようにする。試合後は手指消毒等を心がけ、感染予防に努める。
- ク 競技終了後、原則的に選手は速やかに会場から退出する。監督の指示に従い適切に行動すること。
- ケ 感染者が発生した参加校の取り扱いについては、各学校が行政機関や保健所の指示に従い、適切な範囲で休校等の措置を実施した内容を受け、大会参加の可否について判断する。（感染者・濃厚接触者以外の選手の参加可否判断について、各参加校の学校長が行う。したがって、参加される学校については各学校長の責任で安全を確認されたものと判断する。）
- コ 大会参加を強要することがないよう配慮すること。